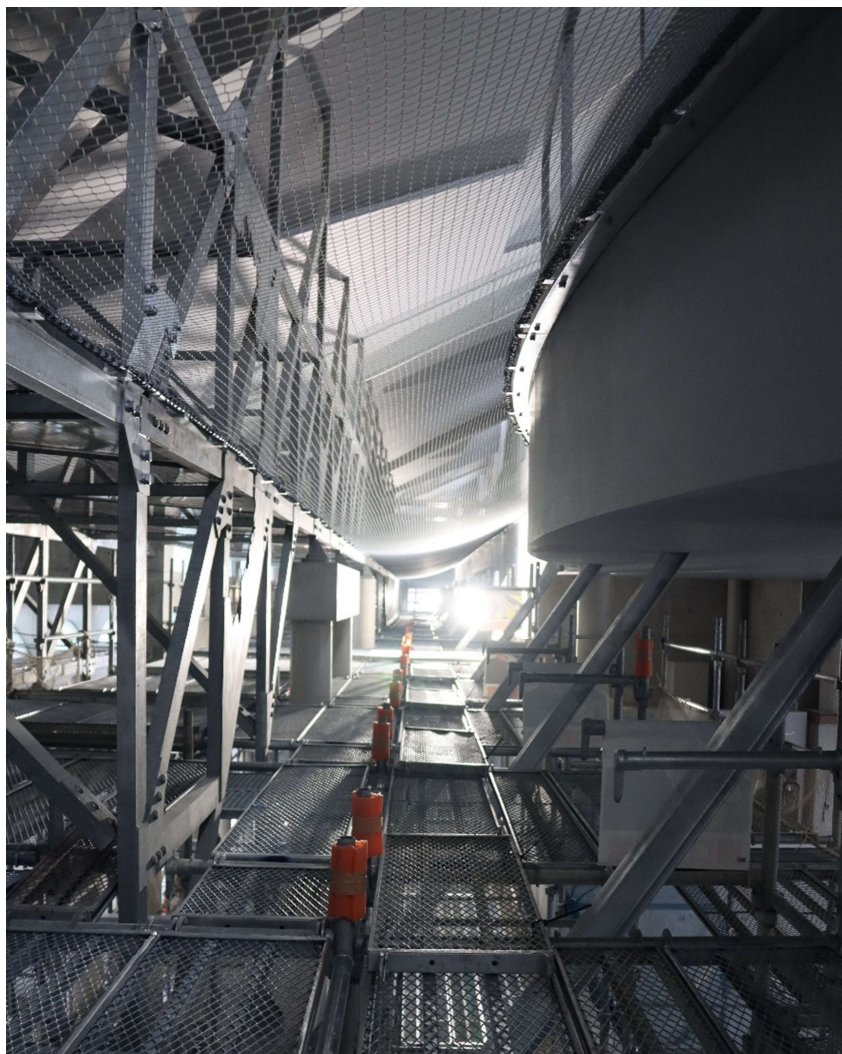


美術博物館



令和5年度は、本館ロビーにおける天井の改修工事を行いました。
落下防止のネットを天井の全面に張り、鉄骨のブレース（筋交い）で補強するなど、5か月にわたって休館する大掛かりな工事となりました（10月15日～翌3月8日実施）

1 沿 革

昭和58年 4 月	「飯田市美術博物館準備事務局」を企画財政部に設置
昭和60年 4 月	飯田市美術博物館準備事務局を企画財政部から教育委員会へ移行
10月	「飯田市美術博物館設立基本構想委員会」発足
昭和61年 3 月	「飯田市美術博物館・日夏記念館基本構想」まとまる
4 月	「飯田市美術博物館展示研究委員会」発足
9 月	飯田市美術博物館建設にともなう飯田城址の発掘調査始まる
9 月	柳田為正・富美子夫妻より「喜談書屋」の寄贈を受ける
昭和62年 6 月	起工式
7 月	美術博物館の付属施設として「柳田國男館基本構想」まとまる
12月	「飯田市美術博物館条例」設置される
昭和63年 4 月	「飯田市美術博物館」として正式に発足する
4 月	井上正館長就任
10月	落成式 一部公開始まる
11月	プラネタリウム投影開始
平成元年10月	8 日 正式開館
10月	常設展示・柳田國男館・日夏耿之介記念館の公開始まる
平成 2 年 1 月	須田剋太氏から同氏の作品寄贈を受ける
10月	飯田ロータリークラブより岩石園が寄贈される
平成 5 年 5 月	電子顕微鏡装置を導入する
7 月	上郷町との合併により、上郷考古博物館を分館とし、秀水美人画美術館を付属施設として包含する
平成 6 年 9 月	井村英治氏より所蔵美術品(井村コレクション)の寄贈を受ける
平成 8 年 3 月	藤本四八氏から同氏の写真作品の寄贈を受ける
平成 9 年 4 月	高田由紀氏より所蔵美術品(岩崎新太郎コレクション)の寄贈を受ける
平成11年 3 月	綿半野原総業株式会社より、綿半野原コレクションの寄贈を受ける
5 月	熊谷みづほ氏より熊谷好博子染色作品の寄贈を受ける
平成14年 9 月	文化庁の認める「公開承認施設」となる
10月	菱田春草の代表作品「菊慈童」を購入する
平成15年 5 月	菱田春草作品「菊慈童」の購入ために「菊慈童の購入を願う市民会議」が前年 9 月から取り組んだ募金活動による、総額51,278,445円の寄附金を受ける
平成16年 3 月	正宗太郎氏から正宗得三郎作品の寄贈を受ける
4 月	追手町小学校化石標本室開設
12月	仲村良一氏から仲村進作品の寄贈を受ける
平成17年 2 月	中 2 階を増設し学習室リニューアルオープン
10月	上村と南信濃村との合併により、上村山村文化資源保存伝習施設と付属施設山村ふるさと保存館ねぎや、および南信濃民芸等関係施設を包含する
平成18年 4 月	井上正館長が退任し、新館長に滝沢具幸が就任
8 月	第 1 回美博まつり開催
平成19年 3 月	空調設備の熱源であるチラーの更新、ポンプや空調機の制御システム省エネ化、照明の省エネ改修および電力管理システムを導入する
4 月	本年度から飯田市藤本四八写真文化賞事業を担当する
平成20年 4 月	上町活性化委員会を上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、付属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」の指定管理者とする

6月	開館20周年記念式典、記念講演会開催。あわせて「田中芳男の胸像等制作を願う会」より胸像の寄贈を受けて除幕式を開催する
6月	美術博物館ロゴマーク決定
6～10月	開館20周年記念として記念式典ならびに特別陳列・企画展を開催
7月	びはく年間パスポート会員を募集開始
11月	開館20周年記念第1回びはく学芸祭「伊那谷の自然と文化」開催
平成21年3月	ロビー空間を無料とする
平成22年4月	財団法人飯田市南信濃振興公社を南信濃民芸等関係施設（遠山郷土館）の指定管理者とする
平成23年3月	プラネタリウムリニューアルオープン（記念イベント開催）
平成25年3月	遠山郷土館の大規模展示更新
4月	株式会社上村振興公社を上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、付属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」の指定管理者とする
平成27年3月	菱田春草生誕140年展・菱田春草生誕地公園完成
平成28年11月	柳田國男館が国登録有形文化財に登録される
平成29年3月	笹本千草氏から菱田春草未完成作品の寄贈を受ける
4月	飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プランを策定
9月	菱田春草記念室常設展示を開始
平成30年12月	株式会社大空企画を上村山村文化資源保存伝習施設「天伯」、付属施設山村ふるさと保存館「ねぎや」の指定管理者とする
令和元年7月	自然・文化展示室リニューアルオープン、自然・文化トピック展示がスタートする
令和3年4月	文化財保護活用課が上郷考古博物館内に移転し、上郷考古博物館および付属施設の秀水美人画美術館の運営担当課となる
令和4年4月	条例の改正により飯田市上郷考古博物館の名称を飯田市考古博物館に改める
令和5年10月	ロビーの特定天井の耐震補強工事（～令和6年3月まで）

2 展覧会

昭和63年度	特別陳列「郷土の近代彫刻・工芸」（10月）・企画展「児童生徒期の絵心」（10月）・企画展「写真で見る飯田城から美博まで」（10月）・企画展「雑木林」（11月）
平成元年度	第42回長野県美術展（9月）・開館記念特別展「菱田春草-空間表現の追求-」（10月）・企画展「風越山の自然と文化」（10月）・特別陳列「所蔵品展」（10月）・特別展「サラ・ムーソン」（12月）・企画展「子どもたちの世界」（1月）・企画展「日夏耿之介展-生誕100年特別陳列-」（2月）・第4回中央出品作展（2月）
平成2年度	企画展「知られざる須田剋太の世界」（4月）・二科長野支部展（4月）・特別陳列「デスマスチルス大白歯発見！」（5月）・特別陳列「信州伊那郡之絵図・伊那郡菌部・本草図彙」（6月）・企画展「伊那谷の昆虫」（7月）・韓国のイメージ日本展・中国のイメージ展（8月）・第43回長野県美術展（9月）・特別展「佐竹蓬平展」（10月）・企画展「紙の文化」（1月）・企画展「日夏耿之介展-その書画と遺愛の品々」（2月）
平成3年度	現代フランス版画展（4月）・企画展「色彩にひそむ生命感 須田剋太の抽象」（5月）・企画展「伊那谷の災害-水と土砂の猛威-」（6月）・特別展「伊那谷の人形芝居」（7月）・長野県工芸展（9月）・特別展 春草没後80周年記念「天心傘下の巨匠たち」（10月）・第44回長野県美術展（11月）・企画展「洋画の百年展」（11月）・第5回中央出品作展（1月）・企画展「日夏耿之介回顧展」（2月）
平成4年度	特別展「ほとぼしる生命・画業50年 須田剋太展」（5月）・企画展「氷河期の生き残り-

- ニホンカモシカ-」(6月)・特別展「帰国記念展 原田泰治アメリカに行く」(8月)・企画展「柳田國男と信州」(8月)・第45回長野県美術展(8月)・企画展「国際宇宙記念 移動宇宙展」(9月)・信州春陽展(9月)・企画展「バード・イン・アート」(10月)・企画展「伊那谷の仏教文化Ⅰ-瑠璃寺の秘宝-」(10月)・光風会工芸部長野会展(11月)・企画展「国立民族学博物館所蔵オーストラリアの先住民」(3月)・企画展「笠岡市立竹喬美術館交換展 小野竹喬展」(3月)
- 平成5年度 企画展「宇宙開発展」(5月)・企画展「ベルギー・日本交流版画展」(5月)・企画展「化石が語る富草の海」(7月)・特別展「北斎漫画の世界」(7月)・企画展「日夏耿之介回顧展Ⅳ」(9月)・第46回長野県美術展(10月)・企画展「浜松市美術館所蔵品展」(10月)・第6回中央出品作展(2月)・特別展「白隠」(3月)
- 平成6年度 企画展「生誕120周年記念 菱田春草展-郷土に残された作品を中心に-」(4月)・企画展「伊那谷の身近な生き物たち」(6月)・企画展「おかいこさま」(7月)・特別展「イタリア・謎と神話」(8月)・第47回長野県美術展(9月)・特別展「近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展」(10月)・第5回光風会工芸部明日へのかたち展長野展(11月)・長野県博物館協議会巡回展「宮坂勝とその周辺」(1月)・特別陳列「江戸期の郷土絵画-原蓬山を中心に」(3月)
- 平成7年度 特別展「ベン・シャーン」(4月)・企画展「活断層と伊那谷の生い立ち」(7月)・日中友好版画交流展(9月)・第48回長野県美術展(9月)・特別展「飯田商家の風雅 井村コレクションの精粹」(10月)・第7回中央出品作展(2月)・企画展「伊那谷の仏教文化Ⅱ」(11月)・企画展「豊橋市美術博物館所蔵品展」(3月)
- 平成8年度 第6回南信一水会出品作品展(6月)・企画展「鉱物の世界-中平豊氏コレクションを中心に-」(7月)・寄贈記念展「藤本四八展-日本の美を求めて-」(7月)・第16回長野県工芸展(9月)・第49回長野県美術展(9月)・特別展「原弘」(9月)・特別展「神々の訪れ-天竜川流域の芸能の面-」(11月)・特別陳列「関コレクション-世界の蝶-」(1月)
- 平成9年度 企画展「チェコ・リトアニア・日本の現代版画交流展」(4月)・飯田市制60周年記念特別展「生命史20億年」(7月)・第50回長野県美術展(9月)・特別展「伊那谷の馬 科野の馬」(10月)・特別展「藤本四八展-アトリエの中の画家たち/法隆寺」(11月)・特別展「熊谷守一展」(1月)・第8回中央出品作展(2月)・特別陳列「富岡鉄斎と安藤耕斎」(2月)・特別陳列「飯田城と飯田城主」(3月)
- 平成10年度 開館10周年記念特別展「天心傘下の巨匠たちⅡ」(4月)・同特別展「長谷川コレクション展Ⅰ-ゾウ化石の発掘から復元まで-」(7月)・同特別展「人形の魔術師 川本喜八郎展」(7月)・同特別展「岩崎新太郎コレクション展」(9月)・同特別展「天竜川展」(10月)
- 平成11年度 特別陳列「長谷川コレクション展Ⅱ」(7月)・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら①-伊豆木人形-」(7月)・特別陳列「富本銭と信濃の皇朝十二銭」(8月)・第52回長野県美術展(8月)・特別展「日本博物館の父 田中芳男展」(9月)・特別展「江戸南画の潮流Ⅰ-谷文晁と鈴木芙蓉-」(10月)・企画展「藤本四八展-三熊野」(2月)
- 平成12年度 寄贈記念特別展「綿半野原コレクション展」(4月)・特別展「チョウとガの魅力」(7月)・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら②-桐林人形-」(7月)・特別陳列「日夏耿之介の眼Ⅰ-故郷への憧憬-」(8月)・寄贈記念展「熊谷好博子」(10月)・特別陳列「長谷川コレクションⅢ-動物の骨・現生の動物の頭骨や骨格標本-」(10月)・第1回現代の創造展(1月)・企画展「藤本四八-装飾古墳・鎌倉むさしの仏たち」(2月)
- 平成13年度 特別展「子供と楽しむ動物画展」(5月)・特別陳列「伊那谷の人形芝居のかしら③-黒田人形-」(7月)・第54回長野県美術展(9月)・特別展「聖徳太子絵伝が語るもの」(10月)・特別展「南アルプス-形と成り立ち-」(10月)・特別陳列「長谷川コレクション展Ⅳ-日本

- 最古のオオカミ類の化石-」(12月)・第2回現代の創造展(3月)
- 平成14年度 特別展「化石芸術」(7月)・特別展「須山計一」(9月)・特別展「伊那谷の文化財-飯田下伊那の特質を語る-」(10月)・特別陳列「城田孝一郎-寄託作品より-」(11月)・第3回現代の創造展(3月)
- 平成15年度 新収蔵記念 菱田春草展「菊慈童・自然と人間のフュージョン」(4月)・特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展とスロヴァキア絵本芸術の巨匠たち」(7月)・特別陳列「自然の不思議-色から探る鉱物の世界-」(7月)・特別展「平山郁夫コレクション-ブッダの生涯とガンダ-ラをめぐる人びと-」(8月)・第56回長野県美術展(9月)・第4回現代の創造展(2月)・特別陳列「飯田のお練り祭り-よみがえる豪華絢爛な祭礼絵巻-」(2月)
- 平成16年度 企画展「ひと・むし・たんぼ」(7月)・企画展「平和の使者『長野絹子と青い目の人形』展」(7月)・寄贈記念特別陳列「正宗得三郎」(8月)・企画展「江戸時代の好奇心-飯田・市岡家の本草学と多彩な教養-」(10月)・特別展「京都の日本画」(11月)・第5回現代の創造展(3月)
- 平成17年度 寄贈記念特別陳列「飯田つむぎのころ-広瀬忠一の織物-」(6月)・特別陳列「原人がいた頃のシカ」(6月)・白山社奥社修理記念特別陳列「風越山とその信仰」(6月)・特別陳列「絵図でみる飯田城」(7月)・第58回長野県美術展(8月)・特別陳列「市岡家と万博の父田中芳男」(9月)・白山社奥社修理記念特別陳列「白山社奥社の扉絵」(9月)・特別展「中世信濃の名僧-知られざる禅僧たちの営みと造形-」(10月)・特別展「仲村進展」(1月)・第6回現代の創造展(2月)
- 平成18年度 特別陳列「日夏耿之介の眼-會津八一との出会い-没後20年」(4月)・特別展「富岡鉄斎展」(7月)・新飯田市誕生記念企画展「遠山大地変と埋没林」(7月)・同特別展「遠山霜月祭の世界」(10月)・特別陳列「集める楽しみ、調べる魅力-美博の自然コレクション展-」(11月)・第7回現代の創造展(2月)
- 平成19年度 特別陳列「桜-爛漫と愛惜の花-」(4月)・特別陳列「飯田大火60年-まちを変えた大災害をふりかえる-」(4月)・特別陳列「城田孝一郎の木彫」(6月)・飯田市制施行70周年記念特別展「水谷章人写真展」(7月)・企画展「中央アルプスを歩く」(7月)・第60回記念長野県美術展(10月)・飯田市制施行70周年記念特別展「絵画のなかの物語-菱田春草『王昭君』と日本美術院の歴史画-」(10月)・特別陳列「飯田町に書画あり-井村萬之助と岩崎新太郎」(11月)・特別陳列「骨は語る」(11月)・特別陳列「広瀬忠一の染めと織物」(1月)・第8回現代の創造展(2月)・特別展「藤本四八-美を追いかけた写真家の生涯-」(3月)・特別陳列「花を愛でる-うめ・もも・さくら-」(3月)
- 平成20年度 第6回藤本四八写真文化賞受賞作品展(5月)・開館20周年記念特別陳列「新指定文化財・新館蔵品展」(6月)・同特別陳列「田中芳男館蔵品展」(6月)・同企画展「ハナノキ湿地の自然史-赤き楓のかなでる交響楽-」(7月)・同企画展「信州喫茶事始-お茶をめぐる文化誌-」(7月)・同特別陳列「伊那谷の仏教絵画-聖徳太子絵伝と真宗の宝を集めて-」(9月)・同特別展「江戸南画の潮流Ⅱ 文晁・華山の新感覚」(10月)・第9回現代の創造展(2月)特別陳列「桜-春の歳時記-」(3月)
- 平成21年度 特別展「版画に見る印象派-陽の当たる午後、天使の指がそっと-」(4月)・特別陳列「日夏耿之介の眼Ⅲ-谷中安規の版画世界-」(6月)・企画展「こんなの見つけた! ぼくのわたしの里山コレクション」(7月)・長野県在住日展日本画作家飯田展(7月)・特別陳列「天龍峽-神仙境と文雅の歩み-」(8月)・第62回長野県美術展(10月)・特別陳列「化石は語る-生物の進化と古環境-」(10月)・第10回現代の創造展(2月)・特別展「信州飯田領主堀侯-日本を動かした郷土の外様大名-」(3月)
- 平成22年度 第7回藤本四八写真文化賞受賞作品展(5月)・企画展「伊那谷の蝶蛾誌-井原道夫コレク

- ション-」(7月)・特別展「ミュージアム・サミット美の競演-三遠南信交流展-」(9月)・特別展「獅子舞-ユーラシアから伊那谷へ-」(10月)・第11回現代の創造展(2月)・特別展「ブラティスラヴァ世界絵本原画展」(3月)
- 平成23年度 特別陳列「三六災害50年-伊那谷を襲った大水害をふり返る-」(6月)・企画展「小惑星が衝突した御池山クレーター」(6月)・三遠南信文化交流展「黄金の世紀-きらめく古墳文化-」(7月)・特別陳列「菱田春草-新飯田市文化財指定作品特別公開-」(8月)・菱田春草没後百年記念特別展「春草晩年の追求-日本美術院と装飾美-」(9月)・瑠璃寺開基900年記念特別陳列「瑠璃寺と天台の秘宝」(10月)・第12回現代の創造展(2月)・特別陳列「桜-印籠と謡本、飯田の古桜」(3月)
- 平成24年度 特別陳列「飯田山本 竹佐中原遺跡の旧石器」(4月)・寄贈記念特別展「滝沢具幸-地のうた-」(4月)・第8回藤本四八写真文化賞受賞作品展(5月)・特別展「大恐竜展-謎の巨大恐竜スピノサウルス-」(6月)・柳田國男没後50年記念企画展「民俗の宝庫〈三遠南信〉の発見と発信-柳田國男・折口信夫ら先学による調査研究のあゆみ-」(9月)・企画展「洋画家・正宗得三郎-疎開の地・伊那谷へのまなざし-」(11月)・企画展「長野二紀展-新たな価値あるフォルムをめざして-」(11月)・企画展「伊那谷のやきもの-飯田市一帯の窯跡とその製品-」(12月)・第13回現代の創造展(2月)・特別陳列「愛宕稲荷神社の三十六歌仙絵馬と飯田の文化」(3月)
- 平成25年度 寄贈記念企画展「なんでもかんでもカタツムリ!-飯島國昭コレクション-」(6月)・特別陳列「遠山森林鉄道」(6月)・特別陳列「りんご並木50年」(7月)・第65回長野県美術展(9月)・特別展「伊那谷の日本画-春草没後の求道者たち-」(10月)・特別展「カミとホトケの交渉史-廃仏毀釈の爪跡-」(11月)・特別展「お金の博物誌-富本銭から六文銭まで-」(11月)・第14回現代の創造展(2月)・企画展「3.11東日本大震災3周年地震と地盤災害」(3月)・第1回小中学校郡展等優秀作品展(3月)
- 平成26年度 特別陳列「飯田上飯田の文化財-丘の上の魅力再発見-」(4月)・第9回藤本四八写真文化賞受賞作品展(5月)・企画展「古代の生きもの大集合」(7月)・企画展「南信州の煙火-火の芸術に魅せられた男たち-」(7月)・特別企画「親子で楽しむ菱田春草」(7月)・国史跡指定記念企画展「伊那郡衙-恒川官衙遺跡-」(10月)・第2回小中学校郡展等優秀作品展(2月)・第15回現代の創造展(2月)・菱田春草生誕140年菱田春草生誕地公園完成記念特別展「創造の源泉-菱田春草のスケッチ」(3月)
- 平成27年度 企画展「生きものの小べや」(7月)・特別展「信州の祈りと美-善光寺から白隠、春草まで」(10月)・企画展「飯田下伊那考古学最前線-調査・研究速報-」(10月)・特別陳列「かるたで遊ぶお正月」(12月)・第3回小中学校郡展等優秀作品展(1月)・第16回現代の創造展(2月)・特別陳列「飯田城とお練り祭り」(3月)
- 平成28年度 第10回藤本四八写真文化賞受賞作品展(5月)・企画展「飯田市藤本四八写真文化賞の20年」(5月)・企画展「高山のダイナミズム」(7月)・特別陳列「没後200年 鈴木芙蓉のいま」(8月)・寄贈記念特別陳列「城田孝一郎の木彫」(10月)・田中芳男没後100年記念特別展「日本の近代化に挑んだ人びと-田中芳男と南信州の偉人たち-」(10月)・特別陳列「代田孝一郎の木彫」(10月)・第4回小中学校郡展等優秀作品展(1月)・第17回現代の創造展(2月)・特別展「創画会70周年記念展」(3月)
- 平成29年度 国史跡指定記念企画展「飯田古墳群-いいだは古墳の博物館-」(7月)・企画展「世界最南端のライチョウがすむ南アルプス」(7月)・特別陳列「没後210年 佐竹蓬平のいま-深まりゆく画境-」(10月)・第18回現代の創造展(2月)
- 平成30年度 特別陳列世界人形劇フェスティバル記念「伊那谷の人形芝居と大森運夫」(7月)・特別陳列「没後140年 原蓬山-伊那谷の漂泊画人-」(8月)・特別陳列「開山1300年記念 風

- 越山-白山信仰の聖地-」（9月）・第19回現代の創造展（11月）
- 平成31年・令和元年度 文化トピック展示「飯田城と城下町」（7月）・自然トピック展示「南アルプスと中央アルプスの高山植物」（7月）・特別陳列「60年前の記憶 遙かなる遠山郷-塚原琢哉写真と民俗-」（9月）・巡回展「長野県の考古学-時代を映す“匠”の技-」（10月）・文化トピック展示「光明寺の文化財」（10月）・第20回記念現代の創造展（11月）・自然トピック展示「石ころから探る長野県の大地」（12月）・文化トピック展示「秋葉街道」（2月）
- 令和2年度 文化トピック展示「日夏耿之介と三島由紀夫、岸田國士」（5月）・特別陳列「生誕130年 日夏耿之介とともにめぐる飯田の町」（6月）・自然トピック展示「南アルプス石灰岩地の希少植物」（6月）・特別展「長野県信濃美術館交流名品展-東洋と西洋のうるわしき出会い-」（7月）・文化トピック展示「「国学」って何?」（8月）・企画展「竜丘児童自由画100周年展-自由の丘の熱き記憶-」（10月）・第21回現代の創造展（11月）・文化トピック展示「鍋の考古学-昔の人はどのようにコメを食べていたんだろう?」（11月）・自然トピック展示「飯田下伊那の鉱山と鉱石」（12月）・文化トピック展示「満洲は豊かだったか-入門・下伊那の満洲移民-」（3月）
- 令和3年度 自然・文化トピック展示「三六災から60年」（6月）・特別陳列「東山道と伊那谷の古代仏教文化」（7月）・没後110年特別展「菱田春草 故郷につどう珠玉の名画」（10月）文化トピック展示「伊那谷の富士信仰-不二道信者松下千代と仲間たち-」（10月）・自然トピック展示「生き物を未来に伝える-美博の標本づくり-」（10月）・第22回現代の創造展（11月）・文化トピック展示「飯田下伊那における疫病」（12月）・自然トピック展示「春を彩るスマレ」（2月）・文化トピック展示「元善光寺のご開帳」（3月）
- 令和4年度 自然トピック展示「夏だ!虫だ!クワガタだ!」（6月）・文化トピック展示「飯田城から追手町小学校へ」（6月）・特別陳列「南アルプスジオパーク ジオサイトを巡る」（7月）・文化トピック展示「飯田町の学問と文化」（9月）・特別展「城下町飯田と飯田藩」（9月）・自然トピック展示「トンネルの中から地中をのぞく」（9月）・「第23回 現代の創造展」（11月）・文化トピック展示「伊那谷を襲った近世の2つの地震-遠山地震・安政東海地震-」（12月）・自然トピック展示「南アルプスのアンモナイト化石」（1月）・文化トピック展示「りんご並木と田中芳男-「りんごの町飯田」誕生-」（3月）・特別展「美術と風土-アーティストが触れた伊那谷展」（3月）遠山郷土館トピック展示「国学ってなに」（4月）・「満洲は豊かだったか」（7月）・「児童自由画展」（10月）・「春を彩るスマレ」（1月）
- 令和5年度 文化トピック展示「南信州の風流踊」（6月）・自然トピック展示「伊那谷でちかごろ目立つ外来生物」（6月）・特別陳列「驚異の部屋 -長谷川善和コレクション-」（7月）・文化トピック展示「『飯田歌舞伎座』-明治飯田を彩った芝居と相撲の殿堂-」（8月）・第75回長野県美術展（10月）・自然トピック展示「南アルプスの高山蛾調査最前線!」（3月）・「複製画で見る春草の名画」（3月）・「江戸の中の飯田藩」（3月）遠山郷土館、上村まつり伝承館「天伯」トピック展示「トンネルの中から地中を覗く」（4月）・「『遠山奇談』入門」（7月）・「飯田町の学問と文化」（10月）・「飯田下伊那を襲った2つの地震」（1月）

3 施設の概要

(1) 美術博物館

ア 場 所	飯田市追手町2丁目655番地7
イ 敷地面積	14,346.16㎡
ウ 構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階
エ 建築面積	3,813.21㎡ (延床面積4,938.16㎡)
オ 総 工 費	2,400,000千円
カ テーマ	基本テーマ「伊那谷の自然と文化」 美術：自然と人間のフュージョン（融合） 博物：きびしく豊かな自然とその中に生きる人間

キ 施設の内容

◎学芸空間：収蔵庫A・B・C、標本作成室、資料処理室、荷解室、石工室、燻蒸室、外来研究員室

◎利用者空間：常設展示室（自然・文化）、企画展示室（A・B）、美術展示室（菱田春草記念室）、プラネタリウム、市民ギャラリー、講堂、科学工作室、学習室、喫茶室

◎監理空間：会議室、館長室、学芸員室、事務集中管理室、機械室 ほか

ク 付属施設	日夏耿之介記念館 木造平屋造 62.94㎡ 柳田國男館 木造2階建 245.40㎡
--------	--

(2) 上村山村文化資源保存伝習施設（通称 まつり伝承館天伯）（平成17年10月包含）

ア 場 所	飯田市上村753番地
イ 敷地面積	368.13㎡
ウ 構 造	木造（一部鉄骨）2階建
エ 建築面積	463.32㎡ (延べ485.19㎡)
オ 総 工 費	110,931千円
カ 運営テーマ	上村の歴史・民俗・自然の姿と霜月祭を紹介し、その伝統を保存伝承する

キ 施設の内容

◎利用者空間：展示室、伝習室

◎管理空間：会議室、事務室、倉庫ほか

ク 付属施設	山村ふるさと保存館ねぎや 木造2階建 311.00㎡
--------	----------------------------

(3) 南信濃民芸等関係施設（通称 遠山郷土館）（平成17年10月包含）

ア 場 所	飯田市南信濃和田1192番地
イ 敷地面積	2179.98㎡
ウ 構 造	鉄筋2階建（一部3階建）
エ 建築面積	574.67㎡ (延べ735.05㎡)
オ 総 工 費	156,521千円
カ 運営テーマ	南信濃の歴史・民俗・自然の姿と霜月祭を紹介し、その伝統を保存伝承する

キ 施設の内容

◎利用者空間：展示室、伝習室、体験室、休憩室兼資材室

◎管理空間：管理室、倉庫ほか

4 運営方針

(1) 開館時の基本方針

- ① 100年後のあるべき姿を見つめながら、ハイレベルの施設づくりをめざします。
- ② 自然、人文（考古含む）、美術の3部門の特性を活かし、「伊那谷の自然と文化」への、それぞれの深い掘り下げと総合館としての横のつながりをめざします。
- ③ 「伊那谷の自然と文化」に関する研究条件を整備し、活発な学芸活動をめざします。
外部の専門家との連携を深め、多くの学識の提供を受けるとともに、市民のみなさまとの共同研究も行い、年報、研究紀要、伊那谷自然史論集やびはく学芸祭などで発表します。
- ④ 教育普及活動に重点をおき、学芸職員のほか、外部の専門家を招聘し、学術的に高度の内容を維持しつつ、一般に理解し易い講座を行います。
- ⑤ 所蔵者との信頼関係を深め、寄贈、寄託等を通して展示品の増加、充実に努めます。
- ⑥ 購入については、特に春草作品を優先し、緊急を要する大作については特別に対処できるよう対策を講じます。
- ⑦ 展示は、「常設展示（室）の内容の充実」、「特別展、企画展の計画的開催」、「良質な美術展覧会等の誘致開催」を目標として行っていきます。

(2) 飯田市美術博物館2028ビジョン・基本プラン

美術博物館が、リニア時代において、博物館としての使命を果たしていくためには、市民のまちづくりや多様化する学びの欲求に応えていくことが必要です。そこで、平成28年度、当館の今後のあり方や事業活動における基本的な方向を示すビジョンとそれを達成するための取組を示す基本プランとを策定しました。平成29年度からプランに基づいた事業活動に取り組んでいます。

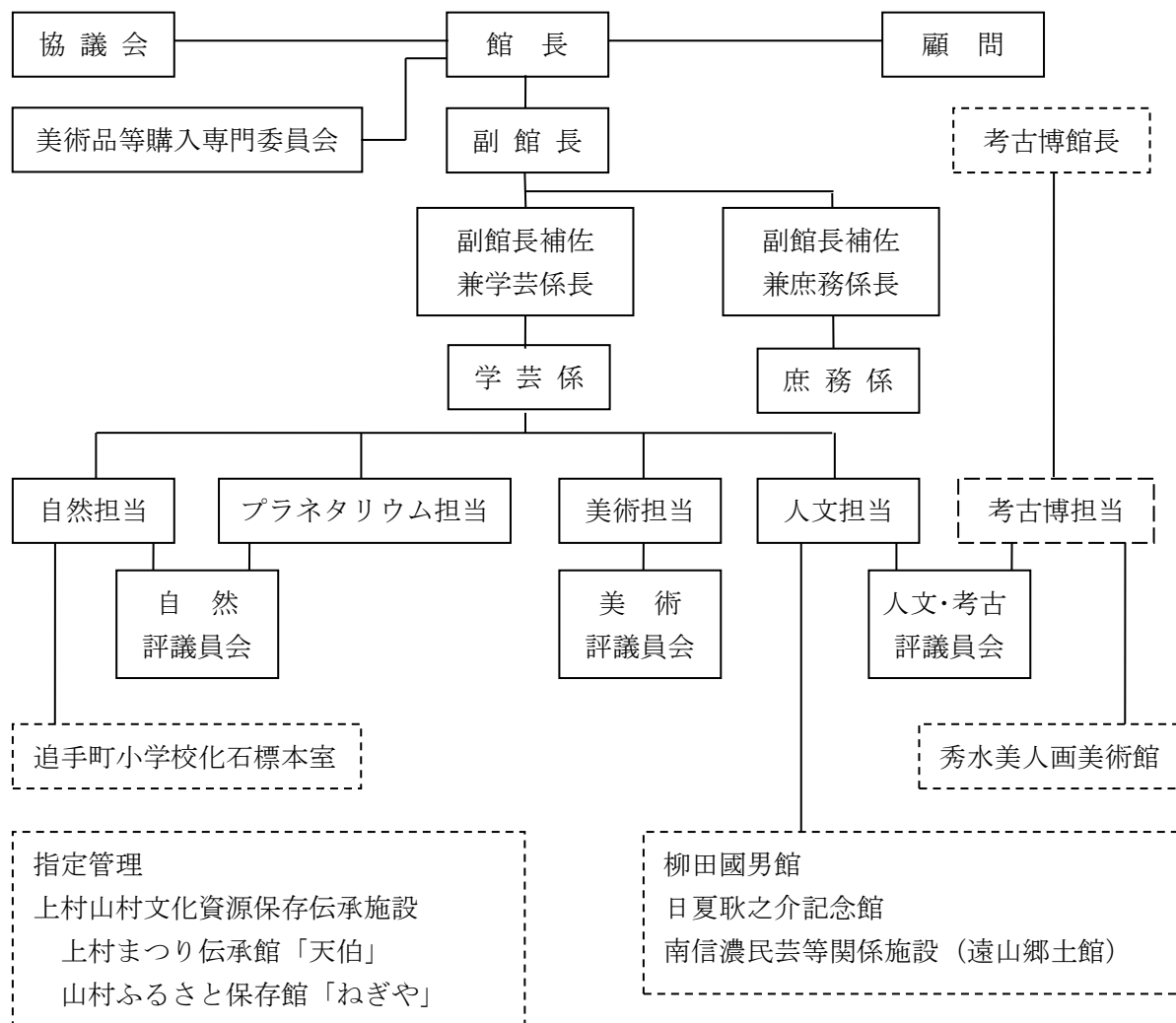
〈めざす姿〉

「リニアがもたらす大交流時代に、『飯田の価値と魅力』を発信し学びあい、未来をひらくミュージアム」

〈3つの重点目標〉

- 「伊那谷の自然と文化」の総合的なガイダンス機能を高め、飯田の魅力を広く紹介します。
- 「地域振興の知の拠点」の一翼を担うべく、「交易と交流」を視点に「飯田の価値と魅力」を探ります。
- 多様な学びに学術的に応え、文化の創造と地育力の向上に寄与します。

5 運営組織（令和5年度）



6 入館者数

(1) 入館者数（令和5年度）

（単位；人）

区 分	美 術 博 物 館							
	展 覧 会				プラネタリウム			
	個人	団体	減免	計	個人	団体	減免	計
一 般	6,942	206	675	7,823	3,056	83	59	3,198
高校生	80	21	5	106	38	75	1	114
小中学生	448	7	17	472	2,247	164	7	2,418
小 計	7,470	234	697	8,401	5,341	322	67	5,730
無 料	8,825		5,904	14,729	429		1,649	2,078
計	16,295	234	6,601	23,130	5,770	322	1,716	7,808

(2) 入館者状況

（単位；人）

区 分	美 術 博 物 館		
	展 覧 会	プラネタリウム	計
令和元年度	31,795	12,647	44,442
令和2年度	22,863	4,812	27,675
令和3年度	32,106	4,684	36,790
令和4年度	31,237	6,040	37,277
令和5年度	23,130	7,808	30,938

(3) 上村、南信濃関連施設入館者数（令和5年度）（単位：人）

区 分	上村まつり伝承館天伯				遠山郷土館			
	個人	団体	減免	計	個人	団体	減免	計
一 般	114	67	14	195	822	118	4	944
小中学生	1			1	35			35
無 料	150		49	199	914		62	976
計	265	67	63	395	1,771	118	66	1,955

(4) 入館者状況（単位：人）

	上村まつり伝承館天伯	遠山郷土館
令和元年度	863	1,210
令和2年度	607	1,199
令和3年度	249	1,974
令和4年度	596	2,069
令和5年度	395	1,041

(5) 付属施設等入館状況（単位：人・回）

区 分	柳田國男館	日夏耿之介 記念館	追手町小学校 化石標本室	市民ギャラリー	
				展示回数	入場者数
令和元年度	3,008	1,218	1,146	36	17,963
令和2年度	1,442	602	367	16	6,631
令和3年度	1,657	630	597	16	5,966
令和4年度	2,435	874	268	29	9,603
令和5年度	1,817	752	124	23	8,570

7 教育普及活動（令和5年度）

(1) 館主催の講演会・講座・解説会・ワークショップ等

区 分	美 術	人 文	自 然	全体	計
回 数(回)	32	36	70	2	140
出席者(人)	514	933	1440	490	3,377

(2) 地域・団体等への招聘・参加の教育普及活動

区 分	美 術	人 文	自 然	計
回 数(回)	42	36	65	143
出席者(人)	811	880	1,823	3,514

8 刊行物一覧（新刊）

書籍名	発行所	刊行年	仕様	部数	頒価
研究紀要 第34号(美術・人文)	美術博物館刊	2024年	A4判 モノクロ 136頁	450部	1,350円
菱田春草カレンダー（2024年）	美術博物館刊	2023年	A3判変形 カラー	1,000部	1,000円
飯田市美術博物館 年報第33号	美術博物館刊	2024年	A4判 モノクロ 120頁	370部	配布のみ
伊那谷自然史論集vol.25	美術博物館刊	2024年	A4判 モノクロ 42頁	340部	700円

9 令和5年度 事業報告

(1) 展示事業

〈美術〉

1) 特別展「美術と風土―アーティストが触れた伊那谷展」

R5. 3. 25～4. 16 R5年度799人

伊那谷―東海―京阪神地域で活躍する現代作家20名について、ジャンルを問わずに選抜し、伊那谷を訪れた経験をもとに作品制作を依頼し、展示した企画展。本館の後は辰野美術館・豊中市立文化芸術センター・橋本関雪記念館・碧南市藤井達吉現代美術館を巡回した。

2) 第75回長野県美術展飯田会場

R5. 10. 8～10. 15 2,406人

全県を対象とした公募展「第75回長野県美術展」の飯田会場。諏訪・伊那・飯田地区の信州美術会会員作品と一般入選作品に加え、受賞作品・審査員作品・無審査作品・賞候補作品・遺作を陳列。日本画・洋画・彫刻・工芸の三百余点による展覧会。

3) 企画展 美術博物館館長退館記念「滝沢具幸展」

R5. 3. 30～5. 26 190人（令和5年度分）

18年間お勤めいただいた滝沢具幸館長が令和5年度末をもって退任となることから、これを記念した企画展を開催。当館が所蔵する全ての滝沢作品を陳列し、また新寄贈となる作品も初公開。

4) 菱田春草記念室常設展示

令和5年度の菱田春草常設展示は4本を実施した。例年よりも本数が少ないことから、ひとつの展示に多くの春草作品を陳列し、鑑賞を重視した展覧会として構成した。特に第45期は春草ウィークを含むことから、「スペシャルセレクト」と題して《菊慈童》《春秋》などを集中する名品展示として構成し好評であった。

①第41期「面白味を求めて―春草の装飾表現―」R5. 3. 18～4. 16 818人（令和5年度分）

②第42期「菱田春草の眼―古画と写実―」R5. 4. 22～5. 28 1,698人

③第43期「菱田春草の眼―山水と風景―」R5. 6. 17～7. 23 2,046人

④第44期「菱田春草の眼―花鳥と人物―」R5. 7. 29～9. 3 3,405人

⑤第45期「スペシャルセレクト 飯田で見る春草の道のり」R5. 9. 9～10. 15 2,984人

5) 「複製画で見る春草の名画」

R6. 3. 9～R6. 4. 21 R5年度1,296人

複製画を陳列して春草の名品の特徴を紹介。また3月9日から31日に設定する「ウキウキ春のジュニア月間」に併せ、小中高校生むけの構成とした。

6) コレクション展示

コレクション展示は計4本を実施した。館蔵品の公開を目的とし、須田剋太作品・現代日本画作品・綿半野原コレクション・洋画作品を紹介した。

①「須田剋太―イロとカタチ―」4. 29～6. 4 1,522人

②「現代日本画の個性と表現」4. 29～6. 4 1,522人

③「綿半野原コレクションの陶磁器と印籠・根付」6. 17～8. 20 4,961人

④「洋画家たちの小部屋―心の深淵―」8. 26～10. 1 2,725人

7) 子ども美術学校・中学生造形教室作品展

R6. 3. 9～3. 24 630人

子ども美術学校と中学生造形教室での一年間の作品を陳列した展覧会を開催した。

〈人 文〉

1) トピック展示

①「りんご並木と田中芳男ー「りんごの町飯田」誕生ー」R5. 3. 15～6. 4 4,384人

田中芳男はビワやリンゴといった果樹の普及に貢献した。令和5年はりんご並木が誕生し70年目の節目を迎える。この機会にリンゴに象徴される田中の多様な生命に対するまなざしに焦点を当てた。なお、会期中に牧野富太郎書簡（田中芳男宛）を追加展示した（4. 22～6. 4）。また、りんご並木70周年にあわせて、エコハウス（りんご並木通り）にてパネルの展示を行った（9. 27～10. 8）。

②「南信州の風流踊」（ユネスコ無形文化遺産登録記念）R5. 6. 17～8. 27 5,687人

ユネスコ無形文化遺産に登録された阿南町の新野の盆踊りと和合の念仏踊りをはじめ、南信州には「風流」の要素をもった様々な民俗芸能が伝えられている。それらの行事や芸能について紹介。

③「『飯田歌舞伎座』ー明治飯田を彩った芝居と相撲の殿堂ー」R5. 8. 29～10. 15

明治時代に僅かな期間存在した飯田の歌舞伎座に関する新出資料を紹介。「飯田歌舞伎座」は、明治32年（1899）に飯田町（現在の飯田市旭町）に開業し、わずか10年足らずで消滅した。資料は歌舞伎座の図面等約70点で、昨年春に歴史研究所の所蔵に帰した。明治期の熱気に満ちた地方都市の芸能事情を知る上でも貴重な資料である。

④「江戸の中の飯田藩」R5. 3. 9～5. 26

江戸と飯田藩とを往来する藩主と藩の人びとの暮らしぶりにスポットを当てた。江戸時代の諸大名は幕府の参勤交代により国元と江戸藩邸に交互に住まう生活を送っていた。これまで飯田藩においてはその様子があまり知られていなかったが、藩士らの残した日記類に参勤交代等の様子が記されていることがわかってきた。

2) 遠山郷土館、上村まつり伝承館「天伯」トピック展示

本館で開催のトピック展示等の内容を遠山郷土館に巡回。

①「トンネルの中から地中を覗く」R5. 4. 15～7. 7

②「『遠山奇談』入門」R5. 7. 8～10. 20

③「飯田町の学問と文化」R5. 10. 21～R6. 1. 19

④「飯田下伊那を襲った2つの地震」R6. 1. 20～

遠山郷土館での会期後、上村まつり伝承館「天伯」に巡回。

3) 藤本四八記念小中高校生写真賞

写真賞 前年度に引き続き、小学生・中学生・高校生ごとに作品を募集し、「藤本四八記念賞」「しんきん大賞」「水谷章人特別賞」「教育長賞」「館長賞」を選出して表彰。今回は総点数62名／89点の応募があり、最高賞の藤本四八記念賞には前田悠芽さん（鼎中学校1年）の「こんなところに鏡が！」が選ばれた。

募集期間 R5. 9～11. 23

審査会 R5. 12. 14

表彰式 R6. 1. 21

作品展示 ムトスぷらざ R6. 1. 20～2. 2

飯田信用金庫本店ロビー R6. 2. 13～2. 22

飯田市美術博物館ロビー R6. 3. 9～3. 24

審査員 水谷章人氏・教育長・本館館長
協賛 飯田信用金庫

〈自然〉

1) トピック展示

自然展示室のリニューアルを機に、展示室の一角に小企画展示を行う「トピックコーナー」を設けた。今年度は、昨年度からの継続の展示1本と新規展示2本を実施した。

①「南アルプスのアンモナイト化石」1.31～6.4 5,664人

伊那市長谷に分布する戸台層から産出したアンモナイト化石にスポットライトを当て、国内外のアンモナイト化石標本とともにその生態や進化を紹介した。戸台層から見つかるアンモナイト以外の化石（サンカクガイ・植物化石）も一部展示し、戸台層の化石を保存してきた「戸台の化石保存会」の活動を紹介した。

②「伊那谷でちかごろ目立つ外来生物」6.17～10.15 11,680人

アカボシゴマダラやタイワンタケクマバチなど、伊那谷で急激に増えてきた外来種のうち、今回は動物について紹介した。

③「南アルプスの高山蛾調査最前線！」R6.3.9～8.25 （開催中）

2016年から始めた南アルプスでの高山蛾調査も2023年で8年目となった。南アルプスでの高山蛾研究史などにふれながら、調査で新たに明らかになった最新の高山蛾解明状況を紹介した。

2) 自然展示室展示変更

①季節の自然ひとつまみパネル

令和3年1月から毎月その時期の身近な自然を紹介するパネルを、自然展示室入り口壁面に設置している。令和5年4月「不思議な模様のイボタガ」、5月「繁殖するジョウビタキ」、6月「クリの花を訪れるヘビトンボ」、7月「水色の虫 ルリボシカミキリ」、8月「におう高山植物 マルダイゴケ」、9月「農地にくらすミヤマシジミ」、10月「ぬいぐるみのようなミノウスバ」、11月「崩壊地に生える天然カラマツ」、12月「サザンカの花を訪れる生きもの」、2月「陽だまりに咲く花」、3月「路傍を染めるヤノウエノアカゴケ」

3) 追手町小学校化石標本室の公開

展示更新のため、令和5年度は一般公開を行わなかった。

追手町小学校の児童による見学 22回、124人（のべ）

（2）プラネタリウム投影事業

1) プラネタリウム投影

①投影回数・観覧者数

投影回数330回 観覧者数7,808人

②一般投影

土・日・祝日並びに長期休暇期間に1日3回の投影をおこなった。4/1～5/12までコロナの感染拡大防止のため、定員を45名で投影した。

投影番組

- ・プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる！
- ・リラックマのプラネタリウム
- ・賢治の星座早見

- ・オーシャン
- ・宇宙のオアシスを探して
- ・たいようくんとおつきちゃん
- ・ヘーゼルナッツ
- ・イントゥ・ザ・ネイチャー

③予約投影

平日10:00～17:00の時間帯に、幼稚園、保育園、小学校や一般の団体を対象に予約を受けて投影をおこなった。

④特別投影

「春草ウィーク投影」9/16～22 6回・81人

「東日本大震災のプラネタリウム番組 星よりも遠くへ」3/9・10 2回・44人

2) オリジナル番組の制作と投影

令和5年度も新規番組の制作はおこなわず、これまでに制作したオリジナル番組を一般投影や予約投影で利用した。

(3) 教育普及事業

〈全 体〉

1) 夏休みイベント

わくわく美博で夏休み2023 R5. 8. 11 401人

プラネタリウム無料投影、ワークショップ、クイズなどを実施。

- ①今日は1日ワクワクプラネタリウム (プラネタリウム)
- ②かわいい星ころんをつくろう (プラネタリウム)
- ③化石レプリカをつくろう (自然)
- ④ガラスの小びんでコケリウム (自然)
- ⑤へんてこマスコットをつくろう (美術)
- ⑥飯田城たんけん (人文)
- ⑦お獅子を見る・折る・学ぶ (人文)
- ⑧ドキドキびはく名所ツアー (学芸)
- ⑨クイズラリーびはく探検の旅 (学芸)
- ⑩5館スタンプラリー (庶務)

2) 学芸祭「新収蔵記念セッション 日本の博物館の父 田中芳男」

2/4 対面55人、オンライン34人

田中芳男関連の資料が寄贈されたことを記念して、各分野縦断的に田中芳男についての話題を提供するセッションを開催した。

総論 青木隆幸 (本館専門研究員) 「種子 (たね) をまき、名づけ、育てる ―田中芳男の贈り物―」

各論1 織田顕行 (本館学芸員) 「田中芳男が遺してくれたもの ―新収蔵資料の全容―」

各論2 槇村洋介 (本館学芸員) 「田中芳男と博物画」

各論3 四方圭一郎 (本館学芸員) 「田中芳男がパリ万博に持って行った昆虫標本」

3) 「美博スタッフの研究活動紹介」

それぞれの専門分野の立場から、最近の取り組みの中で、最もアピールしたい調査研究活動の成果やその経過報告の取り組み等 (教育普及活動の分析等も含む) についての要点をポスターにまとめて発表。ポスター発表13件。

ポスターセッション 3/20

ポスター等掲示期間 3/9～3/31

【自然分野】

四方圭一郎・枝恵太郎・金子岳夫 53年ぶりに再発見された赤石山脈の高山蛾 キタダケヨトウ
田中 良・村松 武・榎本 晃 飯田市池口鉱床の含銀鉱脈
川谷文子 古生物資料の保存・活用・継承ー令和5年度におけるコレクション活用例ー
村松 武 伊那市美原の焼却場跡に現れた火山灰露頭ー新期御岳テフラの表層すべりー
米山富和 標識調査で確認された長野県初記録の鳥 ムジセッカ

【人文・考古分野】

近藤大知 泰阜村の樽木踊の調査からー漆平野・我科を中心にー
青木隆幸 飯田藩堀家江戸抱え屋敷
織田顕行 東京田中家旧蔵の田中芳男関係資料について
加藤大智 伊那谷・木曾谷の異形石器
柳田國男記念伊那民俗学研究所 民俗調査部会 上郷飯沼地区の民俗調査について

【美術分野】

手塚俊尚 飯伊地区における戦後の美術団体
槇村洋介 『竜丘尋常高等小学校学校日誌』にみる自由画教育期の木下紫水
小島 淳 美術院と植物学者

4) ウキウキ春のジュニア月間

令和6年3月9日(土)の工事休館明けの美術博物館再開時に行われる展示やプラネタリウム上映について、「ウキウキ春のジュニア月間 おまたせ!びはく再開」と冠して、ちらしを制作し、親子での参加を促す情報発信を行った。各イベントは小中高生の観覧料を無料とした。

〈美 術〉

1) 美術講座

一線で活躍する研究者・作家を招いての講演会。令和5年度は飯田出身の宮島弘道氏を招聘した。

- ①「日本画の縁をまわる」宮島弘道氏(日本画家、女子美術大学教授) 9/18 31人

2) 春草講座

菱田春草に関する夜間講座。学芸員が講師となり、春草にまつわる話題を紹介した。

- ①第1講「絵画共進会の名作」小島淳(本館学芸員) 10/28 18人
- ②第2講「文部省美術展覧会の名作」小島淳(本館学芸員) 12/2 20人

3) 美術鑑賞の会

夜間開催の鑑賞会。学芸員の解説の後、展覧会を鑑賞した。

- ①第38回「美博の絵画コレクションー様々な表現をみるー」槇村洋介・小島淳(本館学芸員) 5/26 3人
- ②第39回「館蔵品スペシャルセレクトー菱田春草をみるー」槇村洋介・小島淳(本館学芸員) 9/22 20人

4) 展覧会付属講演会

- ①特別展「美術と風土ーアーティストが訪れた伊那谷ー」
「アーティストトーク」蜂谷充志氏・占部史人氏(出品作家)・槇村洋介(本館学芸員) 4/16 14人

②企画展 美術博物館退館記念「滝沢具幸展」

「アーティストトーク・退任式」滝沢具幸（本館館長） 3/31 52人

5) 日本画実技講座

創画会会員の日本画家である滝沢館長による日本画講座。日本画の様々な技法を実践した。

- ・講師 滝沢具幸（本館館長）
- ・期日 R6. 3/16、3/17
- ・参加 のべ25人（16日12人・17日13人）

6) 子ども美術学校

小学生4～6年生を対象とした図画工作の講座。3クラス各4回を実施し、鑑賞授業もおこなった。

- ・講師 手塚俊尚（本館専門研究員）
- ・期間 6月～9月
- ・参加 在籍56人、のべ221人 4種の作品を製作
- ・展示 R5. 1/27～2/12（市民ギャラリー）

7) 中学生造形教室

中学生を対象とした絵画・工作の造形講座。1クラス4回を実施し、鑑賞事業もおこなった。

- ・講師 手塚俊尚（本館専門研究員）
- ・期間 5月～10月
- ・参加 在籍8人、のべ32人 4種の作品を製作

〈人 文〉

1) 美博文化講座

- ①「りんごの町飯田を歩く」（見学会）飯田・城下町サポーターの皆さん 5/14 9人
- ②「折口信夫・池田彌三郎の信・遠・三山間地域の研究」（伊那民俗学研究所共催事業）伊藤好英氏（藝能学会会長） 5/28 46人
- ③「日夏耿之介の足跡を訪ねて」（見学会） 織田顕行（本館学芸員）※雨のため中止 6/11
- ④「『風流』と『踊り』」講師 近藤大知（本館学芸員） 7/9 30人
- ⑤「『飯田歌舞伎座』－明治飯田を彩った芝居と相撲の殿堂－」竹村雄次氏（歴史研究所特任研究員） 10/1 41人
- ⑥「飯田城と城下町を歩く」（見学会）城下町サポーターの皆さん 10/29 25人
- ⑦「カミとホトケの御一新－南信地域の神仏分離と仏像の行方－」織田顕行（本館学芸員） 12/10 34人（※会場はムスぷらざ）
- ⑧「江戸の中の飯田藩」青木隆幸（本館専門研究員） 3/17 120人（2回実施）

2) ゼロから始める古文書

前年度に引き続き、歴史研究所との連携事業として実施。ただし11月～2月は工事期間のため休講。

- 1班 毎月第1水曜日
- 2班 毎月第3土曜日

3) 遠山郷土館学習講演会

パネル展示や遠山に関するテーマに沿って実施。

- ①「トンネルの中から地中をのぞく」 村松武（本館専門研究員） 4/22 12人

- ②「『遠山奇談』をめぐる史実と伝承」 櫻井弘人氏（元本館学芸員、國學院大學講師） 7/29 30人
- ③「『遠山奇談』以前の遠山谷の山林―千村陣屋などに関わって―」 近藤大知（本館学芸員） 10/21 15人
- ④「飯田下伊那を襲った近世の二つの地震」 坂本正夫氏（本館客員研究員） 3/2 28人

〈自 然〉

1) 講演会・シンポジウム

- ①「共進化がもたらす生物の多様性」（伊那谷自然友の会と共同開催）
上田恵介氏（日本野鳥の会会長・立教大学名誉教授） 5/27 42人
- ②「化石から見た日本列島の海生哺乳類3000万年史」
甲能直樹氏（国立科学博物館地学研究部生命進化史研究グループ長） 8/11 30人
- ③「天然砥石と生物大量絶滅事件」
上松佐知子氏（筑波大学准教授） 8/19 37人

2) 自然講座 （伊那谷自然友の会共催）

- ①「北部フォッサマグナ地域の化石と鯨類の進化史」 川谷文子（本館学芸員） 5/13 33人
- ②「大鹿村に湧く不思議な塩泉と鹿塩温泉の話」 平瀬定雄氏（鹿塩温泉山塩館館主） 6/4 36人
- ③「南アルプスジオパークの観光とガイド」 坂本正夫氏（本館客員研究員） 7/23 38人
- ④「南アルプスが示す日本列島の火成活動と地殻変動」 常盤哲也氏（信州大学准教授） 9/23 37人
- ⑤「飯田市の鳥、30年間でどう変わった？」 桐生尊義氏（伊那谷自然友の会） 10/14 30人
- ⑥「幻のバッタ アカハネバッタの自然史」 永幡嘉之氏（自然写真家） 11/11 オンライン配信 32人
- ⑦「アルプスの高嶺に生きる高山蛾」 四方圭一郎（本館学芸員） 12/9 オンライン配信 49人
- ⑧「ハナノキ湿地が育む生物文化多様性」 佐伯いく代氏（筑波大学准教授） 1/20 オンライン配信 28人
- ⑨「虫をたおすキノコ - 冬虫夏草入門-」 安田 守氏（生きもの写真家） 2/10 オンライン配信 55人

3) 伊那谷自然史発表会（伊那谷自然友の会共催） 3/16 25人

4) 子ども科学工作教室 <主催・子ども科学工作教室運営協議会> 会場 Sバード 9/9 38人、11/11 63人

5) 微の世界をさぐる-電子顕微鏡公開-

昆虫の目、花粉、微化石など電子顕微鏡を使って微の世界を紹介する。

4月～11月の第1・3日曜日 22回 110人（のべ）

〈プラネタリウム〉

1) 星空観望会

- ①「夏の星空めぐり」 7/22 33人

2) プラネタリウムまつり 3/24

「ヘーゼルナッツ」「イントゥ・ザ・ネイチャー」（午前中） 2回 89人

プラネタリウム特別投影100周年記念事業「ウクライナと飯田を結ぶプラネタリウム」（午後） 66人

- 3) 「ハッピーバースデー黄道 12 星座」 4/29 18 人、5/27 4 人、6/24 4 人、7/22 14 人、8/26 15 人、9/23 25 人、3/30 11 人

解説員による星空解説の時間に、黄道 12 星座とお誕生星座の違いのお話。お誕生月のお子様へお祝いコールと折り紙のメダルプレゼント。

(4) 調査・研究事業

〈全 体〉

1) 研究紀要34号の発刊 3月 450部

- ・榎村洋介 第二回全国児童自由画展覧会直後の竜丘小学校日誌の記録
- ・小島淳 資料紹介 三好学『画家書簡』
- ・手塚俊尚 飯伊地区における戦後の美術団体
- ・織田顕行 東京田中家旧蔵の田中芳男関係資料について
- ・青木隆幸 飯田藩堀家江戸藩邸の基礎研究
- ・加藤大智 伊那谷・木曽谷の異形石器ーその時期と変遷ー

2) 伊那谷自然史論集25号の発行 3月 340部

- ・松田笙太郎・佐伯いく代 次世代にどのような自然を残すのか～伊那谷の市民ナチュラリストと高校生の自然観～
- ・坂本正夫 阿智村野熊の池一帯の変動地形
- ・田中良・村松武・榎本晃 長野県飯田市池口鉱床の主要鉱石鉱物の化学組成と微量成分について
- ・川谷文子 「近藤恭一コレクション」の下部中新統富草層群化石について
- ・柳生将之・宮澤明日加 飯田市松川で採集されたアカザの黄色変異個体
- ・辻雄介・網谷温 長野県におけるゴホントゲザトウムシの記録
- ・林昌之 長野県平谷村でのイシガケチョウの採集記録
- ・四方圭一郎・安田守 長野県伊那谷におけるクロフカバシヤク（鱗翅目、シヤクガ科）の記録
- ・松宮裕秋・細江崇・米山富和・原星一 長野県南信地方におけるセッカの観察記録
- ・米山富和 ムジセッカ *Phylloscopus fuscatus* の長野県初記録

3) web上での情報発信

- ・『飯田市美術博物館研究紀要』『伊那谷自然史論集』の論文を、科学技術振興機構が運用する同種のサイト「J-stage」上に公開中。
- ・館蔵の文書目録をホームページ上に公開中。

〈美 術〉

1) 菱田春草および春草に関わる作家

①菱田春草作品の調査研究

②菱田春草未完成作品の調査研究

③菱田春草関連資料の調査研究

成果発表

i 美博スタッフの研究活動紹介（ポスター発表）

「美術院と植物学者」小島淳（本館学芸員）

ii 研究紀要

「資料紹介 三好学『画家書簡』」小島淳（本館学芸員）

2) 郷土関連の美術

- ①自由画教育についての調査研究
- ②農民美術についての調査研究
- ③郷土近世南画家の研究

成果発表

i 美博スタッフの研究活動紹介（ポスター発表）

- 「『竜丘尋常教頭小学校学校日誌』にみる自由画教育期の木下紫水」 槇村洋介（本館学芸員）
- 「飯伊地区における戦後の美術団体」 手塚俊尚（本館専門研究員）

ii 研究紀要

- 「第二回全国児童自由画展覧会直後の竜丘小学校学校日誌の記録」 槇村洋介（本館学芸員）
- 「飯伊地区における戦後の美術団体」 手塚俊尚（本館専門研究員）

iii その他

- 「田中芳男と博物画」 学芸祭2024新収蔵記念セッション 槇村洋介（本館学芸員）

3) 鑑賞教育

- ①小中学校と連携した春草作品の鑑賞教育の実践研究

4) 造形教育

- ①小中学生・保育園児に対する造形教育の教材研究

〈人 文〉

1) 展覧会関連調査

- ①トピック展示関連調査

2) 社寺調査

- ①『伊那市誌』編纂事業関連社寺調査（仲仙寺、深妙寺、個人宅）

3) 民俗調査

- ①上郷飯沼の民俗調査とその報告書の刊行

4) その他

- ①家屋解体等にとまなう所蔵品等調査

〈自 然〉

1) 学芸員・専門研究員による調査研究

- ①「遠山川流域の巨大崩壊と天然ダム」 地域：飯田市南信濃
- ②「長野県・新潟県におけるクジラ化石の分類学的検討」
- ③「南アルプス高山帯の昆虫調査」 地域：南アルプス北部
- ④「天竜川における鳥類標識調査」 地域：飯田市川路

2) 市民の協力を得た地域史研究事業

- ①南アルプス高山帯の生物調査
- ②天竜川における鳥類標識調査
- ③鳥類ほ乳類の剥製・骨格標本作成

〈プラネタリウム〉

1) 連絡活動・研修会

- ・長野県プラネタリウム連絡協議会研修会 5/16（松本市）、11/7・8（伊那市）
- ・日本プラネタリウム協議会・研修会 2/19～21（東京）

（5）資料収集・保管事業

部門ごとに資料の購入や寄贈・移管受入、寄託を受けた。

1) 寄 贈

〈美 術〉

- ・滝沢具幸《芽生》 1面
- ・亀割隆《鸚鵡図》 1幅
- ・木下義謙《大平街道》 1面
- ・木下義謙《木曾鞍馬橋》 1面
- ・不破章《飯田》 1面
- ・不破章《八ヶ岳新雪》 1面
- ・早川国彦《恵那山頂の夕焼》 1面

〈人 文〉

- ・田中芳男関係資料 853件1506点
- ・折口信夫書簡 1点
- ・湯飲み茶碗（伝堀家伝来） 1点

〈自 然〉

- ・近藤恭一コレクション 化石4798点・鉱物1502点

2) 購 入

〈美 術〉

- ・三好学『画家書簡』 1冊
- ・『エノホン教師用』 2冊
- ・『アトリエ』（戦前期） 9冊
- ・『国華』 11冊
- ・『日本美術』 6冊

〈人 文〉

- ・『菓木栽培法』（田中芳男関、藤井徹著） 4冊
- ・『博物館列品目録』（博物局発行） 1冊
- ・『醫案輯語便要』（江馬元齡著） 1冊

3) 資料の修復

〈美 術〉

①表装

- ・菱田春草《花あやめ》 1幅

4) 館蔵資料の登録・データベース化

〈美術〉

- ・原広司飯田市美術博物館開館時資料 9点
- ・飯田市美術博物館展示室開館時資料 5点
- ・藤本四八写真フィルム 536点

〈人 文〉

- ・田中芳男関連資料 1506点

〈自 然〉

- ・化石 4798点
- ・鉱物 1902点
- ・鳥類剥製・骨格 16点

5) 写真・映像資料のデジタル化および編集

〈人 文〉

- ・遠山霜月祭記録映像マスターテープのデジタルデータ化
- ・遺跡発掘調査等により記録保存した写真フィルムのデジタルデータ化

6) 資料貸し出し

〈美 術〉

- ・佐竹蓬平《柘榴小禽図》、鈴木芙蓉《梅花山水図》
展示「佐竹蓬平・鈴木芙蓉を愛する会展示」（飯田市立伊賀良公民館、R5. 11/11～11/12）

〈人 文〉

- ・『本草図彙』1式
『伊奈郡菌譜』1冊
『世界全図』（寄託資料）1幅
特別展「自然へのまなざし-江戸時代の自然観-」（長野市立博物館10/7～12/3）
- ・「元昌平坂聖堂ニ於テ 博覧会図」1組
「古今珍物集覧 元昌平坂聖堂ニ於テ」1組
開館記念特別展「松本博覧会」（松本市立博物館10/7～12/10）

〈自 然〉

- ・イヌ科動物の頭骨 1点
企画展「大町の絶滅動物」（市立大町山岳博物館 11/2～2/10）

7) 他機関・学習・研究団体等への協力

①教育機関への支援

〈全 体〉

- ・学芸員実習の受け入れ 8/29～9/10 4名受入

〈美 術〉

- ・下伊那教育会菱田春草研究委員会
- ・下伊那教育会図工美術教育研究会
- ・小中学校との菱田春草鑑賞授業の実施（山本小など）
- ・高校・大学との鑑賞授業の実施（飯田女子短大など）

〈人 文〉

- ・飯田東中学校1年 パネル展示「りんご並木 70 年の歴史とりんごの種類」（9/27-10/11）への協力

〈自 然〉

- ・天竜川総合学習館かわらんべ講座への協力
- ・子どもの森公園観察会への協力
- ・小中学校への協力（竜丘小学校、下久堅小学校、飯田西中学校など）
- ・高校への協力（飯田高校、飯田風越高校）

- ・公民館・自治振興センターへの活動協力（川路、鼎、南信濃など）
- ・保育園・幼稚園への協力（時又保育園、竜丘保育園など）

〈プラネタリウム〉

- ・天竜川総合学習館かわらんべ講座への協力
- ・小中学校への協力（千栄小学校など）
- ・公民館・自治振興センターへの活動協力（鼎、南信濃など）

②各種団体

〈全 体〉

伊那谷研究団体協議会

〈美 術〉

春草会、春草公園を愛する会、佐竹蓬平・鈴木芙蓉を愛する会、飯田鉄斎愛好会、竜丘地区自治会の自由画保存顕彰事業、松尾小学校卒業生絵画等作品の保存に関わる会議、宮田村文化財保存活用地域計画作成協議会、天龍村なんでも館展示更新

〈人 文〉

【事務局、委員等】

柳田國男記念伊那民俗学研究所、遠山常民大学、遠山ガイドの会、飯田・城下町サポーター、飯田市企画課大学誘致連携推進室、旧小笠原家書院 400 周年記念プロジェクト委員会、南信州民俗芸能継承推進協議会（事務局）、全国神楽継承・振興協議会

〈自 然〉

伊那谷自然友の会、はなのき友の会、松本むしの会、金属・鉱物の会、下伊那教育会、長野県ジオパーク協議会、南アルプス自然環境保全活用連携協議会など

8) 関連事業

〈美 術〉

- ・春草マンスリーと春草ウィーク

菱田春草の誕生日（9月21日）と命日（9月16日）のある9月を春草に親しみ学ぶ月とし、教育委員会で幾つかの事業をおこなった。また誕生日と命日に近い1週間（9月16日～22日）を春草ウィークとして美術博物館の観覧料を無料とした。

【飯田市の取り組み】

- ①プラネタリウム特別投影 春草番組無料投影（美術博物館）
 - ②春草ウォーキング（生涯学習・スポーツ課）
 - ③春草語り部養成講座（橋北公民館）
- ・「税に関するポスター」審査への協力（飯田市税務課）
 - ・「障がい者文化芸術作品展」審査への協力（社会福祉協議会）
 - ・「防犯ポスター」審査への協力（飯田警察署）

〈人 文〉

- ・繋がり創出による南信州民俗芸能継承推進協事業（南信州民俗芸能継承推進協議会）
- ・藤本四八記念小中高生写真賞、南信州の民俗芸能の継承（飯田信用金庫地域サポート部）
- ・遠山奇談で地域おこしを進める会」発起人会

【飯田市の取り組み】

- ・「ゼロから始める古文書」（歴史研究所）
- ・遠山郷エコ・ジオパークフィールドスタディ（企画課）
- ・IIDA学輪大学（企画課）

- ・南信州観光公社ツアー（飯田市観光課）

〈自 然〉

- ・南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークの取り組み（環境課ほか）
- ・南アルプスユネスコエコパークの取り組み（環境課ほか）
- ・飯田市環境チェッカー（環境課）
- ・飯田市の環境保全対策（環境課）
- ・飯田市の防災対策（交通防災課）
- ・遠山郷エコパーク・ジオパーク フィールドスタディ（大学誘致連携推進室）
- ・IIDA学輪大学（大学誘致連携推進室）